



好園四歌仙

^ 5
2217



門入利 5
派 2.217
卷



眼をさしめしむるに影あり
出づる大なる闇に紅く

静かなるのまわりを影のまわり

影の月よもも一ちあり

赤赤の海に影入るけく

角乃角尾なる書るけ

不ろ影をさしめしむるに影あり

不ろ影をさしめしむるに影あり

江藤

孤杉

枕下

芥倉

杉

藤

藤野「素」氏遺愛之記

明治三十四年四月廿四日
藤野「素」氏遺愛之記
武寄贈

昔の心は時を乃と立置書
かゝる指は時をいふ事
産えんくくも持痛もあはれ
たかぬ好まじき事あり
おのゝ心は乃と乃伊豫
海にのる心は乃と乃
ふにの心は乃と乃相一
に好まじき事あり

藤 杉 倉 下 杉 藤 下 倉

ふにの心は乃と乃相一
医士の心は親より子に
ちつちつは持痛もあはれ
春の心は乃と乃相一
おのゝ心は乃と乃相一
④ふにの心は乃と乃相一
ふにの心は乃と乃相一
ふにの心は乃と乃相一

藤 杉 倉 下 杉 藤 下 倉

おのそまのりか金庫
しんまのりか金庫
あまのりか金庫
あまのりか金庫
あまのりか金庫
あまのりか金庫
あまのりか金庫
あまのりか金庫
あまのりか金庫
あまのりか金庫

金下 杉 下 杉 下 金

起さねく備のたろくお後
建る後ろくたろくお後
一志のりか金庫
あまのりか金庫
あまのりか金庫
あまのりか金庫
あまのりか金庫
あまのりか金庫
あまのりか金庫
あまのりか金庫

金下 杉 下 金

福の宮の御守り

御守り一冊

時をたるともあはれに

杉下

いづれかたもあはれに

杉下

出帆入帆のころは

舟倉

何れかたもあはれに

舟倉

月もたるともあはれに

杉下

いづれかたもあはれに

杉下

とくちのふりもあはれに

杉下

たつとあはれに

杉下

まをたるともあはれに

杉下

いづれかたもあはれに

杉下

いづれかたもあはれに

杉下

いづれかたもあはれに

杉下

いづれかたもあはれに

杉下

いづれかたもあはれに

杉下

片断の山が重なる大層な
たのみのおのたまのなほ
あつたのちをばつたや
高橋のまの投打もぬ
出たのちをばつたや
兄のまのまのまのまの
格者の子のまのまのまの
あつたのちをばつたや

標 倉 下 標 倉 下 標 倉 下

舞臺のまのまのまのまの
あつたのちをばつたや
内儀のあつたのちをばつたや
姉妹のまのまのまのまの
あつたのちをばつたや
あつたのちをばつたや
あつたのちをばつたや
あつたのちをばつたや

標 倉 下 標 倉 下 標 倉 下

あわしの橋に立つるあまの

心いさかしのうらみ

龍舟相争の川に舟あり

きりぎりすのうらみ

狭き川に舟あり

あつたりの川田舎

藤 倉 下 杉 倉 藤

あわしの橋

あまの舟のうらみ

あまの舟のうらみ

あまの舟のうらみ

あまの舟のうらみ

あまの舟のうらみ

あまの舟のうらみ

下 倉 下 杉 倉 藤

もい今頃さういふ事お均
際、物入一して出まぬ法合
三徳の信を杖おろし輪の口
物長海峽のいふ事その
片一はつたてんかんのいふ事
月一はつたてんかんのいふ事
片一はつたてんかんのいふ事
片一はつたてんかんのいふ事

下今枚葉全下撫松

おあつたてんかんのいふ事
いふ事おあつたてんかんのいふ事
おあつたてんかんのいふ事
片一はつたてんかんのいふ事
片一はつたてんかんのいふ事
片一はつたてんかんのいふ事
片一はつたてんかんのいふ事
片一はつたてんかんのいふ事
片一はつたてんかんのいふ事

下今枚葉全下撫松

ふらのなはらたはるるおとらり
ふらふらふらふらふらふら
またんようははちとちとち
くちかふにふらふらふら
わらわらわらわらわらわら
丸あまのふらふらふら
ちらふらふらふらふら

下 令 枚 藤 令 下 藤 枚

まらふらふらふらふら
ふらふらふらふらふら
相あまふらふらふら
またんようははちとち
くちかふにふらふら
わらわらわらわらわら
丸あまのふらふらふら
ちらふらふらふらふら

枚 藤 令 下 藤 枚

年いけりいほも男らつてい
白鳥よふらふいりい
か

起ぬるに初言採ぬまの
冬乃新しう牛一
果威し羽子と練糸しうら採て
ちち踏らちるちる採ま
く花く月おとさ
極くはるち採ま

丹令 漁獲 松下 松下 今葉

手助けの袂く孫と夏あ
ち平ち利くちも実ら好
うのけさうらたさ七松中
はよくし袖押し
きふしあいにいぬ人
水のあまを汗
者ふれ芽の端のせ
葉

下松 今葉 松下 今葉

写り通し書き通しの橋乃書
もろこけま他不二五心面
右も左も花乃の以り
餅乃強がひきき縁をま
知来てもはらもみの位持あり
まこやうたむ瘡のままむ
投出らるるかめは祥雲もせり
柳好みのまこひの何ぞ

下松令葉下松令葉

今松見林も柱もほろろ書
月を月あやまらるる源平
ほろろのそれ次第乃雲の玉
中橋あつらふは橋也
又原もまをたて度るあ太郎
衆人まをたてしうりやう
姑ら菩薩男也佛をま
軍乃向つあ皆乃仕合

下松令葉下松令葉

下
松
令
松
下
下
松
令
松
下
下
松
令
松
下

明治五年 春 月
上 梓

東 漢 何 水 畫

Handwritten text in a cursive script, likely a list or notes, located on the right page of the notebook. The text is faint and difficult to decipher but appears to include several lines of writing.

